

科目名	共生教育研究	担当教員	全専任教員
科目属性	基幹科目	単位数	2単位（面接0.5）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>星槎大学大学院・星槎大学は、共生社会構築に不可欠な教育理念として人を排除しない、人を認める、仲間を作る、と定めている。社会のあらゆる分野において、人を排除せず、人を認め、仲間を作る人材を育成する共生教育が不可欠である。人を排除しない、人を理解する、仲間を作る資質能力とはなにか、多様な分野において、事例をひもときながら考察する。その考察から、必要な資質・能力を獲得するための教育課題とはなにか、考えを深める。それらの考察から、共生社会構築のための共生教育の探求力を獲得する。</p>			
<p>【授業計画】</p> <p>① 諸外国における共生教育：共に生きるグローバル社会を目指した、人を認める、人を排除しない教育について（細田美和子先生）</p> <p>② 共振者（resonator）である教師—確かなカウンセリングマインドを持って『～とともに在る』ということ—（平出彦仁先生）</p> <p>③ 校門入れば人間みな平等のはずが・・・“画一”“はすべて「悪」か？—“共通”“と言えば「善」？〇“揃える教育”志向と「排除」の論理〇他方で個性への配慮不足〇カリキュラムにおける“共通”と“個性”と「受験体制（偏差値体制）」「学歴社会」の是正という大人社会の責任（水内宏先生）</p> <p>④ 人を認める、人を排除しない資質能力を獲得するための教材の在り方を探る—藤子・F・不二雄のSF短編作品を通して—（仲久徳先生）</p> <p>⑤ インクルージョン教育～障害の有無だけではなく、人種、性別、年齢、経済状況などニーズの多様性を認めるために（西永堅先生）</p> <p>⑥ 認知と発達の心理学とインクルージョン—発達の個人差を知ることから人と人の関係を考える—（伊藤一美先生）</p> <p>⑦ 障害のある、なしに関わらず共に学び、共に育つための学級づくり—教育のユニバーサルデザイン化について考える。（阿部利彦先生）</p> <p>⑧ 行動分析学で共生を科学する。杉山尚子先生）</p> <p>⑨ キー・コンピテンシー（活用、関係性、自律の資質能力）を育成することにより、共生社会の構築を模索する。（天野一哉先生）</p> <p>⑩ ライフストーリーの視点から他者と自己を理解する～行動分析学の理論背景に基づくライフストーリー—曼茶羅ワークショップの実践（三田地真実先生）</p> <p>⑪ 統合的概念としての「共生」と持続可能な開発のための教育（ESD）の展開（鬼頭秀一先生）</p> <p>⑫ 無意識の加害者を意識して～人を認め、排除せず、仲間を作るために必要な社会の理解（坪内俊憲）</p> <p>⑬ 共生に向けての基盤的知識：血液を知る。（佐藤智彦）</p> <p>⑭ 人を認める、人を排除しない、仲間を作る資質・能力とは何かについて考察する。</p> <p>⑮ 必要な資質・能力を獲得するための教育課題について考え、共生教育の基盤を構築する。</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>「スクーリング評価」「レポート評価」および「科目修得試験」を総合して評価する</p>			

【教科書】

学習指導書を発展させて、1年以内に教科書を策定する。暫定的に参考図書を用いる。

【参考図書】

- ① 共生科学序説
- ② 共生への学び
- ③ 共生科学
- ④ みんな神様を連れてやってきた (宮島望著)
- ⑤ 日本はなぜ基地と原発を止められないか (矢部広治著)
- ⑥ 21世紀の資本論(トマ・ピケティ著)